

2013年3月1日  
公益財団法人イオン環境財団

## 第3回「生物多様性 日本アワード」公募開始について

公益財団法人イオン環境財団（理事長 岡田卓也 イオン株式会社名誉会長相談役、以下当財団）は、本年3月1日より第3回「生物多様性 日本アワード」の公募を開始しますのでご案内申し上げます。

「生物多様性 日本アワード」は、2010年に日本で生物多様性条約第10回締約国会議（COP10）が開催されるのに先立ち、2009年に当財団が環境省との共催で日本の生物多様性の保全と持続可能な利用の促進を目的に創設したものです。本アワードは、2010年に創設した国際賞「The MIDORI Prize for Biodiversity（生物多様性みどり賞）」と交互に隔年で開催しています。

第3回を迎える本年は、より幅広い層から優れた取り組みを顕彰するため、本アワードを公募制で実施し、日本在住の団体・個人による生物多様性の保全と持続可能な利用に関する優れた取り組みを顕彰します。

生物多様性の保全と持続可能な利用は、気候変動と並び、地球環境の大きな課題となっています。当財団は、COP10において採択された「愛知ターゲット」や2011年からスタートした「国連生物多様性の10年」を推進するために、顕彰制度の他、様々な活動を通じて生物多様性の問題に取り組んでいます。

### 【第3回「生物多様性 日本アワード」について】

公募期間：2013年3月1日（金）～5月31日（金）

応募資格：日本国内に在住する団体・組織・企業・個人であること。

複数の団体・組織による共同の取り組みも対象となります。

対象の取り組み：生物多様性の保全、持続可能な利用、普及・啓発に関する取り組み

結果発表等：グランプリ1件、優秀賞4件

グランプリ受賞者には表彰状と副賞200万円が、優秀賞受賞者には表彰状と副賞100万円がそれぞれ贈呈されます。

スケジュール：9月下旬頃に選考結果を発表し、10月29日（火）に授賞式を東京で実施する予定です。

主催：公益財団法人イオン環境財団

後援：環境省、国連生物多様性の10年日本委員会、株式会社共同通信社、朝日新聞社、産経新聞社、日本経済新聞社、毎日新聞社、読売新聞社

その他詳細は <http://www.midoripress-aeon.net/jp/> をご参照ください。

### 【公益財団法人イオン環境財団について】

公益財団法人イオン環境財団は、平和の追求、人間の尊重、地域への貢献というイオンの基本理念に基づき、1990年に設立されました。

当財団は設立以来、植樹活動や環境 NGO の支援、国際会議の共催に取り組んでいます。植樹活動においては、市民ボランティアの皆様とともに万里の長城周辺に約100万本、国内外各地において総計190万本以上の木を植えてきました。